教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
芸術・ 音楽Ⅰ	普通科（体育コース） 工業科・商業科 １学年	2	MOUSA Ⅰ （教育芸術社）	Music Navigation （音楽史・楽典・ノート）
科目の概要 と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。			

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	正しい発声を身に付けよう	・歌唱　校歌、「翼をください」「オー・シャンゼリゼ」他	・曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現することができる。 ・曲に合わせて正確なリズムでコップや机を打ったり、他者との調和を意識して演奏したりする技能を身に付け、器楽で表現することができる。 ・音符や休符の名称や長さ、日本語やドイツ語による音名、拍子などについて理解することができる。	・曲の雰囲気に合った音色、強弱を知覚・感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲に合う音色、リズム、強弱などを知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、強弱などを知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・コップや手拍子を用いて、どのようなリズムを作るかについて表現意図をもっている。	・グループで意見を出し合ったり、振り返りをしたりしながら、主体的・協働的に器楽の活動に取り組むことができる。 ・曲想や表現上の効果、音楽の特徴に関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。
	リズムアンサンブルに挑戦しよう	・拍子の理解 ・コップ、手拍子を使ったアンサンブル演奏「Clap,Tap with CUPS！」 ・簡単なリズム創作			
	西洋音楽を聴こう	・鑑賞　組曲「動物の謝肉祭」、交響曲第９番＜合唱付き＞			
	楽譜の仕組み（1）	・音符や休符の名称や長さの理解 ・日本語やドイツ語による音名の理解			
9 10 11 12	ヨーロッパの歌曲を歌おう	・イタリア歌曲の歌唱「Caro mio ben」 ・ドイツ歌曲の歌唱「野ばら」（シューベルト、ヴェルナー）	・曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現することができる。 ・ギターの基本的な奏法を身に付け、簡単な旋律やコードをギターで演奏することができる。 ・２つの音の音程や三和音、奏法上の記号などについて理解することができる。	・曲の雰囲気に合った音色、速度、強弱を知覚・感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・ギターの音色、旋律、テクスチュアなどを知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、強弱などを知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・舞台芸術の特徴や文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 ・ギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組むことができる。
	ギターを演奏しよう	・ギターの演奏「きらきら星」、「歓喜の歌」、「大きな古時計」、「日曜日よりの使者」他			
	舞台芸術に親しもう	・オペラの鑑賞「カルメン」 ・ミュージカルの鑑賞「キャッツ」			
	楽譜の仕組み（2）	・音程の理解 ・和音（三和音）の理解 ・奏法上の記号の理解			
1 2 3	日本歌曲を歌おう	・日本歌曲の歌唱「この道」「むこうむこう」	・曲にふさわしい言葉の発音、強弱の変化などの技能を身に付け、歌唱で表現することができる。 ・箏の様々な奏法を用いて創作した変奏曲を、箏で演奏することができる。 ・これまで学習した楽典の知識を生かして、問題を解くことができる。	・曲の雰囲気に合った音色、速度、旋律、強弱を知覚・感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・箏の音色、速度、形式などを知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ・音色、速度、強弱などを知覚・感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・箏の様々な奏法を用いて、どのような変奏曲を作るかについて表現意図をもっている。	・様々な奏法を用いて弾いた箏の音色や響きに関心をもち、主体的・協働的に創作の活動に取り組むことができる。 ・世界の諸民族の音楽の特徴や文化的・歴史的背景、音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。
	和楽器に親しもう	・箏の演奏「さくら変奏曲」「六段の調べ」 ・創作「さくらさくら変奏曲を作ろう」			
	世界の諸民族の音楽を知ろう	・世界の諸民族の音楽の鑑賞「ニッケルハルパ」「スティールパン」他			

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
芸術・ 美術Ⅰ	普通科・工業科・商業科 １学年	2	高校生の美術１ ＜日本文教出版株式会社＞	
科目の概要 と目標	美術に関する専門的な学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美術体験を豊かにし、美術や美術文化と創造的に関わる資質・能力を育成することを目指す。			

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
4	オリエンテーション 【美術とは何か】 ○鑑賞	○今までを振り返り、高校の美術Ⅰのイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて考える。	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
5 6 7	絵画（油彩画） 【静物】 ○表現 ○鑑賞	○自分でモチーフを選び、構図を検討し、自分らしさを表現する。 ○油絵の具の使い方を理解し、モチーフの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り表現する。 ○友達の作品を鑑賞する。	・形や色彩、明暗、質感など造形的な特徴を捉え、意図に応じて絵の具などの特性を生かし、表現方法を創意工夫している。	・モチーフの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。	・モチーフの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したいものの特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
9 10 11 12	デザイン・彫塑 【大阪万博参加国のキャラクターを作ろう】 ○表現 ○鑑賞	○それぞれの国の特性を調べ、形や色彩を考える。 ○材料や用具の特性を生かして全体の形や構成、バランスを確認しながら粘土を付けたり、形を削り出す工夫をする。 ○友達の作品を鑑賞する。	・形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、キャラクターのポーズや持ち物など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 ・形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・情報を伝えるために、伝える相手や使われる場面などのイメージから主題を生成し、キャラクターの形や色彩、性格を表すポーズや持ち物などが感情にもたらす効果や伝達効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 ・対象の動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主題を生み出し、キャラクターの伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、塑像で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
1 2 3	絵画（色鉛筆画） 【身近なものを描く】 ○表現 ○鑑賞	○モチーフをしっかり観察して、形態と色などの特徴を捉えて、大切にしている気持ちを表すための構想を練りながら、表現方法を工夫して描く。 ○友達の作品を鑑賞する。	・形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、モチーフの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・意図に応じて色鉛筆の特性を生かすとともに、線の強弱など表現方法を創意工夫している。	・身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や考え方を深めて入る。	・身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい身近なものの特徴や美しさなどについて考える。

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
芸術・書道Ⅰ	普通科、工業科、商業科 １学年	２	書道Ⅰ（東京書籍）	
科目の概要と目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を養う。			

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断・ 表現	主体的に学習に取り組む態度
4	書へのいざない	・書道の学習概要 ・書写から書道へ	書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。	小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。	芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
4 5	漢字の書	・漢字の変遷とさまざまな書体 ・楷書 楷書の古典	楷書の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
6		・行書 行書の古典 ・草書 草書の古典 ・隷書 隷書の古典 ・篆書 篆書の古典	行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
7		・篆刻	印と篆刻について知り、用具・用材の用途を理解して、姓名印の刻し方を身につける。	篆刻の価値とその根拠について考え、篆刻のよさや美しさを味わって捉える。	幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
9 10		・古典を生かした創作作品	漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。	漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
11 12	仮名の書	・仮名の成立と種類 ・古筆に見る仮名の表現方法 仮名の古筆	日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や携帯について理解する。 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形や構成を生かした表現をするための技能を身につける。	仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
1 2	漢字仮名交じりの書	・創作作品	漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成などの目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。	目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫する。	幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
3	生活の書	・書を暮らしに生かす	書活動を通し、暮らしに生かせる実用書を理解する。	生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。